

ジャワ農村の地方自治に関する調査ノート(2)

—ジョクジャカルタ特別州バントウル県内3カ村の事例—

黒 柳 晴 夫

1. はじめに

インドネシアでは1998年の5月政変¹⁾によって32年間続いたスハルト(Muhammad Soeharto)の権威主義的支配が終焉を告げた。これは、一方で世界銀行やIMFに主導されたいわゆる市場重視、また他方で先進国主導の国際世論に後押しされた民主主義重視への転換を余儀なくされたものであった。換言すればインドネシアもいわゆるグローバリゼーションという世界的変動の大波に曝されていたことを象徴的に示すものであった。

そのうち後者の民主主義の大波は、「スハルト体制」下で強化されてきた中央集権的な行政制度の分野にも押し寄せ、その地方分権化の実現に大きな影響を与えた。スハルトの退陣を受けて第3代大統領に就いたハビビの(Bacharddin Jusuf Habibie)下で急速に制度的な民主化が進められ、スハルト体制下の1979年に制定された「村落行政に関する1979年インドネシア共和国法律第5号(Undang-undang Republik Indonesia Nomor 5 Tahun 1979 tentang Pemerintahan Desa)」(以下「1979年村落行政法」と略記)に代わって、1999年5月に新たに「地方行政に関する1999年インドネシア共和国法律第22号(Undang-undang Republik Indonesia Nomor 22 Tahun 1999 tentang Pemerintahan Daerah)」(以下「1999年

地方行政法」と略記)が制定された²⁾。この1999年地方行政法は、スハルトの新秩序体制(Orde Baru)下で築き上げられてきた全国画一の中央集権的村落行政組織を、民主的な地方分権化によって再編しようとするものであった。

しかし、ハビビ大統領は、その就任にあたって国権の最高機関である国民協議会の承認を得ていないことが問題とされたが、スハルト前大統領の残任期間の2003年まで就任することになった。そのため、第1に直接あるいは間接に国民の審判を受けないまま権力の頂点に就いたことに加えて、第2に自身がスラウェシ出身であったため政治と経済の中心をなすジャワ社会における政治的基盤が脆弱であったこと、そして第3に「スハルト体制」下で副大統領を務めて本人自身に常にスハルト色が付きまどってきたことなどから³⁾、それらの懸念を一掃するためにも、ハビビ大統領は自ら進んで「改革」の旗手となり、汚職(Korupsi)、癒着(Kolusi)、縁故主義(Nepotism)の排除と民主化の実現に積極的に務めることを表明する必要がある。

そこで民主化の実現のためにハビビ大統領が目指したのは、自由で公正な総選挙の実施と地方分権化の推進であった。前者について、彼は大統領に就任するとすぐに(1998年5月28日)国民の政治参加や政治的自由を保障することを公約し、大統領就任後4ヵ月足らずでそれらの関連法案を国会(Dewan Perwakilan Rakyat : DPR)に上程した(1998年9月17日)。そして、国会の可決を

経て、1999年2月1日に政党法⁴⁾、選挙法⁵⁾、および議会構成法⁶⁾のいわゆる政治関連3法案が制定された。

他方、地方分権化についても制度改革が急がれた。なぜなら、第1に上述したように汚職、癒着、縁故主義のKKN問題とそれを生みだしてきた中央集権的な「開発独裁」に国民の非難が集まっていたこと、第2に地方のニーズと開発に適切に対応できる行政の推進には、中央集権的な「スハルト体制」よりも地方に権限を委譲したほうが効率的であると考えられたこと、そして第3にたとえばアチェ、リアウ、東カリマンタン、イリアン・ジャヤなどの豊かな天然資源の収入がすべて中央政府に吸い上げられて地方に還元されてこなかったために、地方に根強い不満を鬱積させ、地方自治や連邦制移行への要求ばかりか、統一国家の存続を脅かす分離独立要求を顕在化させてきたこと、などの事情があったからであった。そのため、ハビビが5月政変の混乱のなかで大統領に就任してわずか5カ月足らず後の11月13日に、国民協議会において、単一国家の枠組みのなかにおける地方自治の実施、国家資源の公正な管理・分配・利用、および中央と地方の財政均衡に関する1998年国民協議会第15号の決定が行われた⁷⁾。これによって、ハビビ政権は、天然資源収入の産出地方への還元、地方への一般配分金システムの導入によって地方財政の拡充を進めながら、地方分権化を推進することを国民に公約した。

これを受けて、政治関連3法案の国会での審議に見通しが着いた1999年の年明け前後から当時の内務省地方総局が中心になって地方分権化法案の作成作業が進められ、同年5月に国会で成立した。その中心的役割を果たしたのは、ハビビ大統領と同じスラウェシ出身で当時内務省の地方自治局長であったリヤス・ラシド(Ryaas Rasyid)であったといわれ、かれが動員した学者グループが、ドイツの国際援助機関であるドイツ開発公社GTZ(Deutsche Gesellschaft für Technische

Zusammenarbeit)の協力を得て地方分権化法案の作成作業を進めたのである⁸⁾。それが、地方分権化のための地方行政の枠組みを定めた1999年インドネシア共和国法律第22号の「1999年地方行政法」と中央・地方の財政均衡の枠組みを定めた「中央政府と地方政府間の財政均衡に関する1999年インドネシア共和国法律第25号」(Undang-undang Republik Indonesia Nomor 25 Tahun 1999 tentang Pemimbangan Keuangan antara Pemerintah Pusat dan Daerah)(以下「1999年中央・地方財政均衡法」と略記)である。

上述した1999年地方行政法と1999年中央・地方財政均衡法の2法は、1999年5月に成立し、2001年1月に施行された。このうち1999年地方行政法の制定によって村落行政制度の理念と枠組みが、以前の1979年村落行政法のそれと大きく変わることになった。1999年地方行政法は、地方行政単位を地理的に大きい順に州、県・市、郡、町、行政村として、これらの地方行政単位の基本的枠組みを定めた法律である。そのなかで、村落行政制度については、1979年村落行政法に取って代わるもので、1999年地方行政法の第11章「行政村(Desa)」の第93条から第111条に定められている。

インドネシアでは、このように21世紀の始まりとともに政治状況の変化が農村社会の末端にまでおよぶようになり、かつてスハルト体制下で見られた郡、県などの上位政府と結びついた村のリーダーや伝統的な長老の影響が薄れて、いわば誰もが村のさまざまな政治的決定に参加できるようになったのである。このような民主化を示す最も特徴的な変化は、かつての村落協議会(Lembaga Musyawarah Desa : LMD)に代わって村議会(Badan Perwakilan Desa : BPD)が設置され、村落行政が立法と行政の分割の下で行われるようになったことである。

以下に報告する調査ノートは、この1999年地方行政法の施行によって新しく設置された村議会

がどのように運営され、またその結果どのような問題が生じてきたのかについて、その実態をジョクジャカルタ特別州 (Daerah Istimewa Yogyakarta) バントゥール県 (Kabupaten Batul) 内の3カ村、すなわちジュティス郡チャンデン村 (Desa Canden, Kecamatan Jetis)、サンデン郡ムルティガディン村 (Desa Murtigading, Kecamatan Sanden) およびセラン郡ブンドラハルジョ村 (Desa Pendowoharjo, Kecamatan Sewon) で実施した聴取調査の記録である。この記録の一部は、すでに「研究ノート」として『椙山女学園大学文化情報学部紀要』第11巻に発表しており⁹⁾、本稿はその続きをなすものである。なお、表1は、バントゥール県内の全17郡と調査対象として取り上げた上記3カ村の概況を示す数値を示したものである。

しかし、1979年村落行政法から1999年地方行政法への地方自治制度の改革は、中央から地方への移譲に関して十分な準備期間と準備段階が設けられないままに、スハルト大統領退陣後の混沌としたなかでハビビ大統領によって一気に進められた。このような急激な制度の転換によって、民主的な村落行政制度の理解に対する民意の成熟度の違いなどから、村落行政制度の実施にあたって、たとえば村議会議員の選挙をめぐる村落内部で政治的対立が先鋭化したり、村議会が村長と対立して知事に村長の更迭を求めて村政がストップしたりして、様々な問題が発生してきた。その結果、いわゆる行き過ぎた民主化が問われるようになり、そのために1999年地方行政法の見直しが行われた。それが、2004年10月に制定された「地方行政に関する2004年インドネシア共和国法律第32号 (Undang-undang Republik Indonesia Nomor 32 Tahun 2004 tentang Pemerintahan Daerah)」(以下「2004年地方行政法」と略記)である。2004年地方行政法は、村落行政制度については明らかに民主化が後退した。一例をあげれば、村議会 (Badan Perwakilan Desa : BPD) に変

わって村落協議会 (Badan Permusyawaratan Desa : BPD) が設置されることになり、村民の間の対立を回避するために村協議会議員の直接選挙が廃止され、議員は隣組長、慣習文化の長老、名望家などの村民を代表する者が就任することになったことである。

しかし、バントゥール県内では1999年地方行政法の施行にともなって村議会議員の選挙が2000年の暮れから2001年の初めにかけて行われ、同議員が同法に定められた任期10年を務め、2011年の末から2012年の初めに議員の改選が行われた。1999年地方行政法に定められた議員の任期は10年であるが、2004年地方行政法に定められた議員の任期は6年である。しかし、移行措置として1999年地方行政法の下で選出された議員がそのまま10年間就任して改選されることになったのであるが、本報告で取り上げるバントゥール県内の事例は、1999年地方行政法に定められた村議会議員から2004年地方行政法に定められた村落協議会議員への移行期の実態を示すものである。

2. ジュティス郡チャンデン村

(1) チャンデン村村議会書記 Sunaryo の聴取

(於:チャンデン村役場) 2011年3月7日(月)
(雲) (9:35~10:40)

いずれのBPDも会議を開き、開かれる会議の最初から最後まで記録と会議の決定や成果を含む記録が、書記によって作られる。それは次のようなことを含む会議録である。すなわち、会議参加者名、会議参加者の提案、会議の審議の重要事項、会議における決定結果などである。BPDの会議は、通常夜の20:00~22:30に村役場内に設けられているBPD会議室で開かれる。条例を決定する会議は通常最低でも3回開かれる。会議の

表1 バントゥール県内郡および調査村別面積・水田面積・人口・学校指標(2006年)

郡名	面積		村数	世帯数	人口	男	女	人口 密度	平均世 帯員数	幼稚園 児童数	幼稚園 児童数	小学校 児童数	小学校 児童数	中学校 生徒数	中学校 生徒数	普通高 等学校	高校生 徒数
	(ha)	(%)															
1 Srandakan	1,832	3.61	2	8,610	31,069	15,119	15,950	1,696	3.61	20	821	18	2,454	3	897	1	314
2 Sanden	2,316	4.57	4	10,331	34,263	16,644	17,619	1,479	3.32	25	1,477	21	2,947	4	1,599	1	702
Murtigading	438	0.86		2,198	9,004	4,398	4,640	2,065	4.00	5		5		2		1	
3 Kretek	2,677	5.28	5	7,945	31,476	15,149	16,327	1,176	3.96	21	1,080	21	2,514	3	928	1	279
4 Pundong	2,368	4.67	3	7,266	32,556	15,764	16,792	1,375	4.48	22	709	23	2,843	3	1,535	1	466
5 Bambanglipuro	2,270	4.48	3	11,084	43,445	20,977	22,468	1,914	3.92	27	947	23	2,992	6	1,465	3	680
6 Pandak	2,430	4.79	4	12,382	49,099	24,313	24,786	2,021	3.97	36	1,714	27	4,271	5	2,021	0	
7 Bantul	2,195	4.33	5	15,038	60,023	29,338	30,685	2,735	3.99	32	1,135	32	5,718	11	3,135	6	2,570
8 Jetis	2,447	4.83	4	14,907	50,358	24,520	25,838	2,058	3.38	27	1,080	28	4,416	4	1,649	1	704
Canden	536	1.06		3,342	10,137	4,865	5,272	1,891	3.03	4		7		2		0	
9 Inogiri	5,449	10.75	8	14,496	57,500	27,939	29,561	1,055	3.97	35	1,390	29	4,529	6	2,125	2	857
10 Dlingo	5,587	11.02	6	9,557	37,790	18,313	19,477	676	3.95	19	656	28	3,415	7	1,106	2	288
11 Pleret	2,297	4.53	5	12,437	34,112	16,994	17,118	1,485	2.74	23	1,104	21	3,738	4	1,854	2	607
12 Piyungan	3,254	6.42	3	11,313	38,431	18,937	19,554	1,183	3.40	29	1,214	23	3,987	4	1,496	2	463
13 Banguntapan	2,848	5.62	8	21,505	86,053	42,302	43,751	3,022	4.00	48	2,670	36	6,463	7	2,793	4	1,454
14 Sewon	2,716	5.36	4	26,080	78,142	39,484	38,658	2,877	3.00	39	1,335	34	6,687	5	2,212	3	1,001
Pendowoharjo	698	1.38		4,648	18,107	8,959	9,148	2,594	3.90	10		3		3		1	
15 Kasihan	3,238	6.39	4	16,534	80,159	40,054	40,105	2,476	4.85	48	1,766	38	7,084	8	2,054	3	1,062
16 Pajangan	3,325	6.56	3	7,445	30,825	15,041	15,784	927	4.14	24	982	15	2,391	3	1,111	1	353
17 Sedayu	3,436	6.78	4	9,835	45,204	22,144	23,060	1,316	4.60	26	868	27	3,838	3	1,327	3	1,420
全県合計	50,685	100	75	216,765	820,555	403,032	417,523	1,619	3.79	501	20,948	444	70,287	86	29,307	36	13,220

資料：Bantul Dalamangka 2006/2007 (Badan Pusat Statistik Kabupaten Bantul), Kecamatan Sanden Dalam Angka 2005 (Kabupaten Bantul), Kecamatan Sewon Dalam Angka 2006/7 (Kabupaten Bantul), Kecamatan Jetis Dalam Angka 2006/7 (Kabupaten Bantul), なお、空欄は不明。

決定結果は、村に送られ、県に委ねられる。会議費は、BPD 運営費からもたらされる。

チャンデン村の BPD は、議員報酬と会議手当の金として村から毎年 9,360,000 ルピアを、そして補助金として村から毎年 9,115,000 ルピアを得ている。BPD の議員は、6 か月あるいは 1 学期ごとに議員報酬を受け取る。その額は下記のようなものである。

議長 (1 人): 750,000 ルピア / 6 か月 × 2 回 =
1,500,000 ルピア / 年

副議長 (1 人): 600,000 ルピア / 6 か月 × 2 回 =
1,200,000 ルピア / 年

書記 (1 人): 450,000 ルピア / 6 か月 × 2 回 =
900,000 ルピア / 年

議員 (9 人): 360,000 ルピア / 6 か月 × 2 回 =
720,000 ルピア / 年
720,000 ルピア / 年 × 9 人 =
6,480,000 ルピア / 年

議員報酬の年総額は 9,360,000 ルピア (議員の一人が欠け 11 人だからか?) である。

BPD と村長によって制定された村条例 (Perdes : Peraturan Desa) は地方条例 (Perda : Peraturan Daerah) と同じ方向のものでなければならないし、地方条例そのものは政府の条例 (PP : Peraturan Pemerintah) と同じ方向のものでなければならない。

(2) プレンブータン部落 BKM 委員 Ibu Sumini (32 歳) の聴取

(於 : 部落内 4 組にある赤いバラ (Mawar Merah) の名前が付けられた集会所) 2011 年 9 月 12 日 (月) (雲) (11 : 12~12 : 20)

UPPKS (Unit Program Penanggulangan Kesejahteraan Sosial) は、貧困排除のためにバントゥール県からのプログラムである。地震の時に実施される UPPKS は、地震の時の経済復興のために向けられた。借金はグループを通じて行われなければならない。1 グループは 10 人から構成

される。7 人は貧困家族 (Gakin : Keluarga Miskin) でなければならない。3 人の世話人は非貧困家族である。世話人は、長 (Plembutan 部落長の妻)、書記、会計で構成される。現在の会員は 20 人である。借金には利子が付かない。借金は 10 回分割で返済する。毎回 100,000 ルピア返済する。プログラムが始まったところは借金額は 1,000,000 ルピアが与えられた。Plembutan 部落には 2 つの UPPKS グループ、すなわち Mawar 1 と Mawar Merah がある。毎月 25 日に集会が行われる。Mawar 1 は、会員が変わらないので拡大しない。子どもセンター (CC : Children Center) の建物は緊急支援団体 (YEU : Yayasan Emergency Unit) によって作られた。子どもセンター (CC) の建物は、最初は地震の時に子どもたちのトラウマをなくすために建てられた。しかし、現在は子どもセンターの建物は UPPKS、Posyandu、そのほかの社会活動のための会合や活動に使われている。

プレンブータン部落の構成員は、狭いとはいえ水田を持っている。部落長は役職田を 1 ヘクタール与えられる。そのうちの 250 m² がすでに前の部落長に恩給田 (Pengareng-areng) として与えられている。

BPD 議員は、それぞれの部落あるいは幾つかの部落の連合による提案選挙区のもとに選ばれる。2011 年 12 月に新 BPD 議員が選出される。前 BPD の任期は 10 年だった。BPD の選挙の規定に関して、社会化が行われている。Plembutan 部落からの BPD 議員は Totok Subroto (51 歳) で、Magelang 通りにある Indo Jaya Motor でディーラをしている。脹らんでいる問題は、前 BPD 議員が再び選ばれることができないとの言明である。しかし、前議員は再度選ばれてもよいとの言明もある。現在までのところは述べられたことに関して明白ではない。今まで住民が途方に暮れることがたくさんある。

Sumini は Barangan 市場で揚げ物を売ってい

る。現代では、男と女は相続の配分で同じ配分を受ける。普通、末子の子どもはすでに亡くなった親の家を得る。母親たちは PKK (Pemberdayaan Kesejahteraan Keluarga) のアリサンをしている。母親たちの PKK は、Simpan Pinjam の活動も行っている。母親たちの PKK のアリサンは協同組合のようなことを兼ねている。最初の払込金(原資: Simpan Pokok) は 5,000 ルピア。借金の利子は 1.5% で、5 回に分割して返済される。借金の返済払いは 5 ヶ月。毎月の 6 日に会合がもたれる。母親たちの PKK のアリサンは 5 つの RT で構成されている。毎回会員は、金額は自由に預金することができる。受け取る借金の額は、分割返済がスムーズに行われていることで決められる。普通、借金は、仕事の資金の必要や出産の時に隣近所の援助のために使われる。出産と結婚した人の援助のための金は約 40,000~50,000 ルピアである。

(3) チャンデン村村長 Supanto (61 歳) の聴取

(於: 村役場) 2011 年 9 月 13 日 (火) (雲)
(9:12~11:20)

チャンデン村の人口は 10,300 人。BPD の選挙区は 11 ある。

BPD 議員の選挙は今年おこなわれる。BPD の村議員は 2011 年 8 月に選挙されなければならなかった。この時に、選挙方法の案内が Bantul 県政府から変更された。2012 年初めに新しく選出される BPD 議員が宣誓をする。BPD 議員の選挙方法の基本は、村の選挙区の選挙委員会組織の構成から始められる。チャンデン村 BPD 議員は 11 人である。チャンデン村には 15 の部落 (dukuh) がある。BPD 議員は、話し合い (musyawarah) を基礎として選出される。全有権者は 9,000 人である。

複数の部落を併せて選挙区を確定するのは、選挙区としての全人口数による。BPD の候補者は

選挙区の選挙委員会に申し込む。BPD 議員の選出メカニズムは話し合いを利用することである。話し合いでの決定方法は、手あるいはヤシ葉の芯 (lidi) をあげるやり方であり、これは最高位の序列を決めるためである。勝利した BPD 候補者は村の選挙委員会に送られる。村の選挙委員会は、話し合いを行い、BPD 組織構成を決める。新 BPD 議員の任期は 6 年である。選挙ができる有権者は、17 歳になっているか、すでに結婚していて身分証明書 (KTP: Kartu Tanda Penduduk) を持っている人。新 BPD (Badan Permusyawaratan Desa: 村落協議会) も旧 BPD (Badan Perwakilan Desa: 村議会) も議員数は 11 人である。BPD の機能は、条例制定、村落行政の監視、予算審議である。県政府は、常に村落行政を監視するために BPD に権限を与える。新旧の BPD の間に違いはない。村長と BPD は、現在では同じ行政をきちっと行っている。新 BPD の議員は政党出身ではない。BPD の議員は、社会でプラスの評価を受けた人である。プラスの評価とは、社会の中心にあってカリスマ性を持っていることで、たとえば宗教、指導性、有名などというように。BPD は、常に村落行政の監視をするが、現在では村長と一緒に村落行政府を支える。地方自治行政に関する 2004 年法律第 32 号 (UU No. 32 Th2004) は、BPD のコントロール (監視) 機能をきれいに整備し、コントロール (監視) 機能を弱めた。

ポスヤンドゥー (Posyandu: Pos Pelayanan Terpadu) は村交付金 (Alokasi Dana Desa: ADD) から資金を得る。チャンデン村には 16 のポスヤンドゥーがある。毎年、ポスヤンドゥーの資金として 1,000,000 Rp の支援がある。しかし、ポスヤンドゥーの予算はまだ不足している。総予算の積算は子どもたちを基礎にしていない。ポスヤンドゥーの従事者は、社会のために働き(奉仕する)、手当はない。ポスヤンドゥーの資金は、毎年 1 回与えられる。資金の使用については必ず報告されなければならない。ポスヤンドゥーは、チャンデ

ン村の村民福祉(Kesejahteraan Rakyat: KESRA)のための活動の部分成している。チャンデン村 KERSA は、社会問題、保健(健康)、中央家族計画庁(Badan Koordinasi Keluarga Berencana Nasional: BKKBN)の職務と調整できる。ポスヤンドゥーは2つあり、5歳以下の乳幼児(Balita: di Bawah Lima Tahun)のためのポスヤンドゥーと高齢者(Lanjut Usia: Lansia)のためのポスヤンドゥーである。歯については、5歳児以下乳幼児のポスヤンドゥーでより注意されている。保健(健康)については、高齢者のポスヤンドゥーでより注意されている。高齢者のポスヤンドゥーでは、保健組織(Dinas Kesehatan)によって保健検査のために1月に1回呼吸検査を行う。村落政府は貧困家族のための振興策を実施している。

政府の援助は、金と物からなる。金の援助は、グループの形で給される。貧困撲滅プログラム(Program Pengentasan Kemiskinan)は、ジョクジャカルタの2006年中部ジャワ地震後から始められた。政府の援助には、PNPM(Program Nasional Pemberdayaan Masyarakat 社会振興国家プログラム)、Rashin、PEKM(Pemberdayaan Ekonomi Keluarga Miskin 貧困家族経済振興)がある。チャンデン村は貧困撲滅のためのグループが30ある。貧困家族の基準は中央(政府)で決められる。チャンデン村には貧困家族が760家族いる。貧困家族の基準は、家の所有、1日の食事回数、所得の水準である。貧困人口の合計は、村落政府によって毎年注意深く観察される。

村落政府の構成員は、村長、書記(carik)、5人の係長(Kabag: Kepala Bagian)、15部落長、10人の職員、以上の32名である。村長以下村職員の32人は、チャンデン社会に仕える人数としてはすでに充分である。村職員が定年になった時、現職時に給されていた役職田の8分の1の恩給田(pengarem-arem)を継続して受ける。恩給田は、前村職員の定年の支払いに利用される役職田(tanah lungguh)あるいは水田(bengkok)のこ

と。本人が死亡したときには、3年後に村に返す。しかし、その間に妻が死亡の際にはその時に村に返す。つまり、この村では、恩給田は村長、国家公務員(PNS: Pegawai Negri Sipil)の書記と村職員(perangkat desa)は定年から妻の死亡までである。村職員(pamong desa)は役職田を得た時に、自分が威信を得たと感じ、自慢に思う。

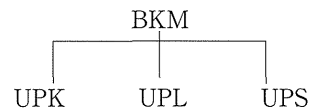
開発計画協議会(MUSRENBANG: Musyawarah Rencana Pembangunan)は中期開発計画(RPJM: Rencana Pembangunan Jangka Menengah)の基礎である。開発計画協議会は、1年に1回開かれる。1年の最後の期間(3か月)にある。開発計画協議会の段階は、部落→村→郡→県となっている。県への一番下の社会からの開発の提案で、県は、その提案が、開発を実施するためにふさわしいかそうでないかを決める。

(4) チャンデン村 BKM 委員 Ibu Widayati (帳簿 / 会計係) の聴取

(於: 役場隣の BKM 事務所) 2011 年 9 月 13 日(火)(雲)(12:00~12:40)

社会自助団体(BKM: Badan Keswadayaan Masyarakat)は、貧困を克服するために中央政府によって作られた。中央政府からの BKM の資金源は、都市自治の社会振興国家プログラム(PNPM)を経由するものである。BKM は PNPM からの資金を配分するためにその下に3つの単位を持っている。

チャンデン村のBKMの組織構造
BKM長はSupriyanto



UPK: Unit Pengelola Keuangan 財政管理係

UPL: Unit Pengelola Lingkungan 環境管理係

UPS: Unit Pengelola Sosial 社会管理係

UPK は、社会へ資金を供するための職務を担う。UPL は、周りの環境の改善のために中央政府から来る資金を供するための職務を担う。UPL の活動には、たとえば道路の舗装、ブロック舗装、建設のような活動などである。UPS は、貧困家族の社会能力の研修を行う責務を担う。このプログラムからの資金は助成がある。UPL と UPS の職員は、プログラムの検討をするための会議を普通月に 1 回開く。中央政府の資金に依存した UPL と UPS の活動は、実施される予定のプログラムに従う。UPL と UPS は、チャンデン村 UPK のような事務所を持っていない。UPK は、チャンデン村役場の西側に事務所を持っている。UPK 職員の職務の日時は、チャンデン村役場職員の勤務と一緒にある。月曜から金曜までで、土曜日と日曜日は休み。UPK には Eko Joko Purnomo (係長)、Widayati (帳簿 / 会計)、Nyarita (書記) の 3 人の職員がいる。UPK は、会員に厳格でなく貸し付けをする。資金を借りるために担保・保証は必要ない。保証は、土地証明書 (sertifikat tanah)、オートバイ車両登録証明書 (BPKB : Bukti Pemilikan Kendaraan Motor)、自動車登録証明書 (BPKB Mobil) 等のようなもの。UPK は仕事を持っている人のために貸し付けをする。資金は社会的自助グループ (KSM : Kelompok Swadaya Masyarakat) を通じて与えられる。1 自助グループ (KSM) は 5 人以上の会員から構成され、1 人が長になる。UPK を扱う職員は支援 (ボランティア) の性格を持っている。職員は、貸し付け金の運用から手当を得る。チャンデン村の UPK によって費用が支払われる仕事は、川魚レレの養殖、鶏の飼育、ジャムーの販売、裁縫、一時的な購買販売の仕事等である。いつも KSM から資金を得るためには、UPK に計画書を提出しなければならない。実行されなければならない約束は、KTP (Kartu Tanda Penduduk 住民登録証) と毎月の利益の詳細な説明である。まだ新しい KSM の場合は、各構成員は 500,000 Rp

までしか借りられない。最高に借りられる額は 2,000,000 Rp である。分割返済がスムーズに行われているかによって、借金できる資金額の多寡が決められる。日々の生活費や学校の教育費などのためには借りることができない。返済は 12 回の分割で行われる。返済の時に当たる日は弾力的に行われる (毎月 20 日以内で)。利子は年当たり 1.5% である。もし、返済が良好であれば、サービス (jasa) から一部の返済が免除されたり、還付の手数料を受けることもある。手数料の支給は年の終わりに行われる。このプログラムは、1999 年から始められた。チャンデン村には 37 の自助グループ KSM がある (2011 年)。LPMD (Lembaga Pemberdayaan Masyarakat Desa 村民権限付与委員会) は社会自助団体 BKM と同じではない。LPMD は、金銭的な状態を調整したり管理したりすることはできない。毎年、このプログラムに従って参加する人が増えている。より大きい金は、インドネシア国銀行 (BNI) に納めなければならない。2×24 時間職員は現金で 1,000,000 ルピア以上金を持ってはいけない。毎月末には、資金の回転の結果の残額が 1,000,000 ルピア以下でなければならない。これは基金が盗まれることを防止するためである。1 ヶ月に銀行に 3 回から 4 回行くこともできる。毎月 15 日ないし 16 日ごとに利子、税金、運営費を説明するために銀行に行かなければならない。これは、毎月決算前に貸し付け条件を作るためである。2011 年 8 月 25 日の銀行預金残高は 7,500,231 ルピアである。金銭の記帳はマニュアルの通りに行われる。コンピューターは利用しない。職員たちがデータを失うのを心配するからである。

3. サンデン郡マルチガディン村

(1) マルティガディン村村長 Haji Sukirno (1955.4.14 生) の聴取

(於：村役場) 2010年8月26日(木)(晴)
(10:00~12:30)

・マルチガディン村の歴代村長

- ① R. Hartowibowo 独立~1997
- ② R. Banbang Surya Sidharta 1997~2005.3
- ③ H. Sukirno 2005.3~現在

村によって整えられる地方・農村自治もあるが、しかし、県によって整えられる事柄もたくさんある。たとえば、村交付金 (Alokasi Dana Desa : ADD) のように。

BPD 議員の選挙は 10 年に 1 回実施される。全部で 18 部落あり、選挙区は 3 部落で 1 選挙区となっている。

LKMD (Lembaga Ketahanan Masyarakat Desa : 村社会強靱委員会) は、各部落が社会の名声を得ている人を LKMD の委員になるように選んで構成される。

BPD は、住民によって直接選出される。立候

補者の条件は、年齢、学歴等だが、まだ調整なされていない。

BPD は村役人とともに村条例 (peraturan desa) を制定する。BPD は村政府とパートナーのようなものである。

BPD の立候補者になるメカニズムは、部落に登録し、候補者の住んでいるところの選挙区で運動する。選挙区は 3 部落で構成される。代表選出の割り当て基準 (定数) は 1 定数当たり住民 500 人である。これはバントゥール県のシステムである。

BPD の第 1 回目の選挙は 2001 年 12 月に行われた。

村議会 (BPD : Badan Perwakilan Desa) の役割は、国会 (DPR) のように村落政府の運営を見ることである。村長 (Lurah) は BPD に対して責任をとることができる。しかし、現在の「2004 年地方行政法」下の村落協議会 (BPD : Badan Permusyawaratan Desa) は、政策の決定、話し合い、同意のなかで村落政府のパートナーのようである。村長は、郡長を経由して県知事に直接責任をとる。

選出された BPD 議員は、選挙区で最高得票を得た人 (上位 2 名) である。

表2 マルティガディン村議会BPD

(職名)	(名前)	(住所)
1. 議長	Drs. Hendarto MA. MM	Trisigan Murtigading
2. 副議長	Kasbiyanyo	Trisigan I
3. 議員	Nur Raharjo	Dagen
4. 議員	Sukirno	Pucang Anom
5. 議員	Pranowo	Mayungan
6. 議員	Jawadi	Piring II
7. 議員	Sumardiyono	Kurahan
8. 議員	Jumano	Kranggan
9. 議員	Mulyoto	Ngentak
10. 書記	Jumakir	Trisigan
11. 議員	Hartono	Kurahan II

(議員は現在11人で、以前13人いたが2人は死亡した。現在の議員構成と出身部落は、上記のとおりである。)

村ごとの資金の使用の管理について、BPD の議員報酬と会議手当は、村交付（配分）金 ADD（Alokasi Dana Desa）から予算化される。ADD は中央政府から来る。しかし、ADD からの予算がない時にはそれぞれの村で負担する。BPD の会議のための ADD（Alokasi Dana untuk BPD）の額は、議員 11 人に対して年間 9,000,000 Rp である。また、RT（Rukun Tetangga）のための県からの配分額（Alokasi Dana untuk RT）は年間 100,000 Rp である。BPD の議会は、通常は夜開かれるが、それは BPD 議員それぞれが主業を持っているからである。

村長の任期（jabatan）は 10 年で、再選は 2 期までだが、年齢の上限が 60 歳である。村長と部落長の選出は住民による直接の投票で行われる。村役場の書記（carik）と村役人はその村の構成員が優先される。書記の地位は国家公務員（PNS : Pegawai Negeri Sipil）である。

ポジションが空いている村役人があれば、村は空白の村役人のポジションがあることを県に報告し、新しい村役人の候補者を登録するために議論される。そして村で候補者が登録され、県で筆記試験が行われる。もし評価が同じ場合には、村長

が同等にするか区別するか決める。ムルティガディンの村役人の合計は、村役人 7 人と部落長（kepala dukuh）18 人である。

予算について、村の自主財源（PADES : Pendapatan Asli Desa）は、書類発行の手数料と村有地からの賃貸し料・小作料である。ADD は中央政府から来る。

(2) ムルティガディン村村長 H. Sukirno の聴取

（於：村役場）2011 年 3 月 7 日（月）（雲）（11：30～12：20）

立派に見える BPD 議員の親は多くが農民（70%）なので議員に選出されるが、確かに上に述べた BPD 議員の人たちは社会において活動的な人間なので、かれらの親たちによって影響を与えられるようにならない。BPD の資金源は、100,000,000～120,000,000 ルピアにおよぶ村本来の歳入（PADes : Pendapatan Asli Desa）からである。その村の本来の歳入は、村の小作地とその他の物からによるものである。それ以外に村交付金（ADD : Alokasi Dana Desa）が 146,000,000 ルピアある。

表3 ムルティガディン村BPD議員の出身部落と職業

（職名）	（名前）	（選挙区）	（職業）
1. 議 長	Drs. Hendarto MA. MM	Trisigan Murtigading	MTs教員（中学と同等）
2. 副議長	Kasbiyanto	Trisigan I	死亡
3. 議 員	Drs. Nur Raharjo	Dagen	中学教員
4. 議 員	Sukirno	Pucang Anom	中学教員
5. 議 員	Pranowo	Mayungan	小学校管理人（Pengawsa SD）
6. 議 員	Drs. Jawadi	Piring II	元小学校管理人で定年
7. 議 員	H. Sumardiono, S. Ag.	Kurahan	小・中・高校宗教教員管理人
8. 議 員	Jumano	Kranggan	SMKK教員（高校と同等の学校）
9. 議 員	Mulyoto	Ngentak	Sanden郡役所勤務の国家公務員（PNS : Pengawai Negri Sipil）
10. 書 記	Jumakir	Trisigan	BPD担当の村職員 KTU（Kepala Urusan Tata Usaha）BPD
11. 議 員	Hartono	Kurahan II	実業家（ビジネスマン）
12. 議 員	Drs. Hasri		元中学教員で現在実業家

(3) ムルティガディン村 BPD の Sekretaris で KTU (Kepala Urusan Tata Usaha) の Jumakir (1973.7.20 生) の聴取

(於: 村役場) 2011 年 3 月 8 日 (火) (雲) (11:30~13:00)

BPD 費用の財源は、毎年村本来の歳入 PADes からの 8,880,000 ルピアと毎年 8,300,000 ルピアの ADD とからによる。ムルティガディン村 BPD 議員の議員報酬と会議手当は、PADes からの額は次のようである。

議長 (1 人): 1,200,000 ルピア / 年
副議長 (1 人): 960,000 ルピア / 年
書記 (1 人): 960,000 ルピア / 年
議員 (8 人): 720,000 ルピア / 人・年
720,000 ルピア / 人・年 \times 8 人 = 5,760,000 ルピア / 年
全合計金額 8,880,000 ルピア / 年

ADD からの額は次のようである。

議長 (1 人): 1,000,000 ルピア / 年
副議長 (1 人): 900,000 ルピア / 年
書記 (1 人): 800,000 ルピア / 年
議員 (8 人): 700,000 ルピア / 人・年
700,000 ルピア / 人・年 \times 8 人 = 5,600,000 ルピア / 年
全合計金額 8,300,000 ルピア / 年

以上から、各 BPD 議員一人当たりの年間の議員報酬と会議手当は下記のとおりである。

議長 (1 人): 1,200,000 + 1,000,000
= 2,200,000 ルピア / 年
副議長 (1 人): 960,000 + 900,000
= 1,860,000 ルピア / 年
書記 (1 人): 960,000 + 800,000
= 1,760,000 ルピア / 年
議員 (8 人): 720,000 + 700,000
= 1,420,000 ルピア / 人・年

BPD の会議は普通夜に開かれる。なぜなら

BPD 議員は昼間はそれぞれ仕事を持っているからである。場所は村役場隣の村集会所 (pendopo) である。普通会議の長さは平均 2 時間で、20:00~22:00 である。会議の際には、会議の間のメモを内容とする記録がとられる。ADD についての県知事の決定は当該の村の発展度合いによって異なる。

(4) ムルティガディン村村長の H. Sukirno (1955.4.14 生) と BPD Sekretaris の Jumakir (1973.7.20 生) の聴取

(於: 村役場) 2011 年 9 月 15 日 (木) (雲)
(8:50~10:00)

今年は、年の終わり (2011 年末) に BPD の任期が終わる。2012 年に BPD 議員の選挙を行う。村落政府は、BPD の議員の選挙は重大で能力的にできないと思う。BPD 議員の選挙の予算は非常に大きい。現在まで、BPD 議員の選挙についての法令はまだ修正段階にある。地方条例 (Perda: Peraturan Daerah) は、まだ作成が終わっていない (BPD の選挙)。選挙区のシステムは、18 部落を 6 選挙区に分ける。3 部落で 1 選挙区のため、各部落の段階での直接の選挙はあり得ない。ムルティガディン村では BPD の議員数は 11 人までである。BPD の議員の任期は 10 年であった。新しい法令 (peraturan) では、BPD の議員は任期 6 年の村長と一緒に進める。普通、BPD の議員は社会の名望家 (tokoh masyarakat) からでる。BPD の議員は 2 回選挙で選ばれることができる (2 期 12 年まで)。年齢が 60 歳以下であれば候補者になれ、したがって BPD の議員になれる。ムルティガディン村の村長の選挙は 2016 年である。BPD の議員はすでに就任中である。BPD の議員の選挙は、1 月から 12 月の間で考えられている。BPD の議員の合計は 11 人である。BPD の書記 (Sekretaris BPD) は、議員を解消して村落政府の任命になり、部落と同水準である (Sekretaris BPD は、新しい地方条例によって

BPD の議会事務をする長になった)。BPD の書記(議会事務の長: Kepala Tata Usaha)は、他の村職員と同じように、役職田(tanah lungguh)を手当として与えられるようになった。BPD の機能は、まだ変わらずに同じである。2011 年に 5 つの村落条例がある(Perdes: Peraturan Desa)。

ムルティガディン村 5 村落条例

1. 村政府組織の構成(Susunan Organisasi Pemerintahan Desa)
2. 2010 年の村の収入と支出の決算
(Perhitungan APBDes: Anggaran Pendapatan dan Belanja Desa)
3. 2011 年の村の収入と支出の予算
(APBDes: Anggaran Pendapatan dan Belanja Desa)
4. 2011 年の村徴収金(Pungutan Desa 2011)
5. 村有地の経営(Pengelolaan Tanah Desa)

村落政府と BPD の議員の関係は調和している。政党の存在は村落政府に対して影響力はない。旧規則では BPD の議員は 13 人であった。(新) BPD は 2004 年に形作られた。2 人の BPD 議員が死亡した。BPD は、PAW (Pergantian Antar Waktu 交替を通知する時期)のシステム、すなわち議員としての能力がなかったり死亡したりした BPD の議員を交替する手続きのことを承知している。予算は 15,000,000 ルピア以上と推察され、村の歳入をかき集める。BPD 議員の選挙システムの可能性は、そのシステムを行わない前と違わないだろう。BPD 議員の選挙は運営が必要である。ムルティガディン村の住民はいつも変わらない傾向にある(移動性がない)。BPD の議員は、特別な約束事を持たないが、最も大事なことは、部落や社会で影響力を持っていることである。村落政府は、村の支出を節約するために BPD 議員の選挙がないことを望む。ムルティガディン村の住民は、出生が増えた結果増加した。ムルティガディン村の住民の移動性はほぼ

村から町へである。職員(村の事務員)の合計は 33 人で、村の社会に応えるにはすでに十分な人数である。村の吏員の任命は、村長に提案され、BPD による賛成を得なければならない。各部署の長(Kepala Bagian)の試験は県で行われる。村の吏員は村長によって取り上げられる。部落長は部落社会によって取り上げられる。州の所有地が村で運営される。しかし、その運営の成果は州に入れることができる。村も州の土地とスルタンの土地を運営する。州政府は、州の所有地が村政府によって運営されることを望む。村条例で行われている村の歳入の土地は、貸すあるいは事業のために利用される土地である。村の歳入の土地は 14.2633 ha である。幼稚園(TK)の費用は村からなのに、小学校(SD)から高校(SMA)までは教育事務所(Dinas Pendidikan)からである(開発/資金源の問題)。役職田(lungguh)と恩給田(pengarem-arem)が 41.3117 ha あり、恩給田はすでに恩給生活に入った村役人に貸与される村有田である。

村落政府の下にある社会自助団体 BKM (Badan Keswadayaan Masyarakat) は協会の形を取っている。BKM は中央や州からの援助金を取り扱う。BKM は社会の振興のために中央政府から交付金を得る。ムルティガディン村の BKM は全バトントゥール県中で一番よい。

LPMD (Lembaga Pemberdayaan Masyarakat Desa 村民権限付与委員会)は村落行政府を支援するためである。LPMD は自然開発において村を支援するためである。LPMD はムルティガディン村の中期開発計画(RPJMDes: Rencana Pembangunan Jangka Menengah Desa)を作成する。LPMD は BKM の機能と目的は異なる。

(5) ムルティガディン村 BKM の書記 Karyanto の聴取

(於: BKM 事務所) 2011 年 9 月 15 日(木)
(雲) (10:15~11:10)

Peciro 部落と Piring 部落は資金が 28,000,000 ルピアで、5,000,000 ルピアは管理費である。

ムルティガディン村社会自助団体 BKM (Badan Keswadayaan Masyarakat) は 2000 年から始まった。BKM は 1 村に 1 つである。BKM は 2000 年に Kimpraswil (公共事業省: Kementrian Pekerjaan Umum) から 250,000,000 ルピアを受けている。このうち 206,000,000 ルピアが社会に対して貸し付ける基金である。BKM は 3 つの活動分野 (環境・社会・経済、Lingkungan、Sosial、Ekonomi) が原則である。社会的自助グループ KSM (Kelompok Swadaya Masyarakat) は、いろいろな必要 (Lingkungan、Sosial、Ekonomi) のために借入れを申請することができる。1KSM は 5 人以上だが、人数が多いほどよい。BKM は独立した性格を持つが、BKM の指導は村長との調整である。社会的自助グループ KSM は、Ekonomi グループが 96、Sosial グループが 1、Lingkungan グループが 2 である。Sosial グループは、Nata de Coco を作るための訓練を行っている。Lingkungan グループは、排水施設 (drainase) の開発である。分割による返済金の返済率は 90% 以上である。社会の方面については、マーケ

ティングの推進 (terkendala pemasaran) である。環境については最低 30% を自力で行うことが強く求められている。借入れを申請するには、申請書を作り、返済の保証をしなければならない。信用が最も重要なことになる。BKM の参加者は増えたり減ったりである。KSM にはいつも借り続けているものもあれば、借金を延長しないものもある。BKM は村社会に責任を持っている (bertanggungjawab)。毎年末に年次の会員討議が行われる。BKM 組織のメンバーは村社会によって選ばれる。BKM 組織メンバーの選挙は PEMILU (総選挙 Pemilihan Umum) のシステムに似ていて、投票システムを用いる (最大多数の声 suara terbanyak)。

4. セラン郡プンドラハルジョ村

(1) プンドラハルジョ村村長 Subarta (44 歳) の聴取

(於: 村役場) 2010 年 8 月 27 (金) (晴) (9: 10~9: 40)

BPD 議員の選挙区は 13 に分かれ、部落数は全

表 4 2002 年 1 月 4 日県知事の認証を得た発足時のプンドラハルジョ村 BPD (Badan Perwakilan Desa) の議員

(名前)	(生年月日)	(学歴)	(住所)
1. Wibowo	02-05-1956	SPBMA	Karanggede
2. Sumardi	11-04-1945	D 3	Cepit
3. Jaka Suryanta	24-02-1944	SLTA	Bakalan
4. H. Subito	10-02-1953	SLTP	Ngrukam
5. Mustofa Kamal, S. Ag.	17-09-1975	Sarjana	Naglik
6. Muh. Jisron	11-02-1967	SLTA	Karangmacanan
7. Drs. Dwi Maryanti	15-03-1963	Sarjana	Bandung
8. Suharsono, SH	12-04-1963	Sarjana	Sepabang
9. Panut	07-07-1953	SMEA	Blunyahan
10. Bagus Sarjiman Suroso	06-01-1956	SLTP	Diro
11. Sugiarto	09-02-1966	SLTA	Pulutan
12. Honi Purnomo	01-09-1960	SLTA	Banyon
13. Iman Siswadi, SH	06-02-1959	Sarjana	Pendowo

表5 調査時のブンドラハルジョ村のBPD

(2010年8月現在)

(職名)	(名前)	(学歴)	(選挙区) (表6参照)	(職業)
1. 議長	Drs. Dwi Maryanto	Sarjana S. 1	Bandung & Monggang(7)	企業経営 (Wiraswasta)
2. 副議長	Wibowo	SLTA (中学)	Dagen(1)	国家公務員 (Pegawai Negeri Sipil:PNS)の農林省支所 (Dinas Pertanian)
3. 書記BPD	Suharsono SH	Sarjana S. 1	Kaliputih(8)	Wiraswasta
4. 議員	Mujiyo	SLTA (前任者のSubitoが最初の議長ketuaだったが死亡したので、その後交代した。)	Krandahan(4)	Wiraswasta
5. 議員	Suroso BS	SLTA	Diro(10)	Wiraswasta
6. 議員	Sumardi BA	Diploma III	Cepit(2)	Pensiunan PNS
7. 議員	Iman Siswadi	SH:Sarjana S 1	Pendowo(13)	Pengawai Swasta
8. 議員	Sugiarto	SLTA	Rogoetan(11)	Pengawai Swasta
9. 議員	M. Jisron	Sarjana S 1	Miri(6)	PNS UGM
10. 議員	Heni Pernomo	Sarjana S 1	Banyon(12)	PNS Pemda
11. 議員	Panut	SLTA	Blunyahan & Pucung(9)	Pegawai Swasta
(12) 議員	Joko Suryanto (死亡)		Sawah(3)	
(13) 議員	Mustofa Kamal (西ジャワへ転居)		Ngaglik & Ngimbang(5)	

部で16ある。1人のBPD代表を選ぶ選挙者の最大数は1,000人。1,000人の有権者で1人のBPD代表を選ぶ。前は議員が13人いたが、現在議員は11人である。BPDの任期は、以前は村長の任期に一致して10年であった。しかし、2007年の地方自治条例 (peraturan daerah) No. 21によって村長の任期は6年に変更された。

BPDは元のLMD (Lembaga Musyawarah Desa)に由来する。LMDは村政府をコントロールするようなものだが、しかし村長が議長になり、多くの村役人による意味づけがなされる。社会の代表である構成員でBPDは組織される。

議員に女性はいない。議会は年間12回以上開催され、場所は役場にある会議場である。

村落政府 (Pemerintah Desa) は村長 Lurah + 村役人 Pamong で構成され、村落行政府 (Pemerintahan Desa) は村長 Lurah + 村議会 BPD で構成される。

LPMD (村民権限付与委員会) の役割は、立案する (merencanakan) こと、計画する

(melaksanakan) こと、開発の評価 (evaluasi) をすることである。

最初の議長は Subito であったが、死亡して交代した。その時の副議長は Suroso BS であった。

Pendowoharjo 村の新村長の Subarta はその前は Kecamatan に勤めていた。2010年3月31日に、村長の職に就いた。というのはその時前村長が辞めたからである。選挙によって選ばれた前村長は職務を遂行できなくて、その職務は知事からの指示でセラン郡役所に勤務していた Subarta に移された。村に関する新しい法令 (peraturan) である 2005 No. 72 による。

赤子の出生数は1月平均18-20人を数え、総人口は、2010年6月に18,644人、7月に18,674人である。村の総面積は698.0170 haで、面積率が下がっている水田は48.7%の340 ha、住宅地と屋敷地を合わせて358 haである。

表 6 選挙区の編成と部落

(1) Dagen①	(2) Cepit②
(3) Sawahan③	(4) Krandoan④
(5) Ngimbang⑤、Ngaglik⑧	(6) Miri⑥
(7) Bandung⑦、Monggang⑨	(8) Kaliptih⑩
(9) Blunyah⑪、Pucung⑫	(10) Diro⑬
(11) Rogoetan⑭	(12) Banyon⑮
(13) Pendowo⑯	

() は選挙区、○は部落名の番号を示す。

(2) プンドヲハルジョ村村長 Subarta の聴取

(於：村役場) 2011 年 3 月 8 日 (火) (雲) (8:45~10:50)

BPD の名称と役割の変更に関するのは 2005 年政令 (Peraturan Pemerintah) 第 72 号。プンドヲハルジョ村の BPD 議員は以前は 13 人であったが、今は 11 人である。2012 年の初めに新しい BPD 議員の選挙がある。プンドヲハルジョ村は 16 dusun で構成され、選挙区は 13 あり、1 選挙区 3 dusun までの制限がある。普通は束ねられる選挙区は人口数が 1,000 人以下で、他の部落と束ねられて 1 選挙区になる。

以前の村長は、(汚職事件) 公判中のために一時的に村長の地位を停止され、現村長が直接県知事によって派遣されてプンドヲハルジョ村村長代理になった。プンドヲハルジョ村の BPD と村長との関係はすでによくなって進んでいる。現在の村落行政府は、村長と BPD とで成り立ち、互いに一緒に仕事を進める。以前は、村長は BPD に責任を負わなければならないと定められていたが、現在は直接県知事に責任を負っている。プンドヲハルジョ村では、BPD の議員の教育水準は、チャンデン村とマルチガディン村の BPD の議員の教育水準とそんなに異ならない。

BPD 議員の議員報酬と会議費は 2 つの原資からによる。

会議費：会議があった時に得られる費用。

議員報酬：毎年支払われる費用。合計額は

4,200,000 ルピア / 年。

議長： 45,000 ルピア / 月

→ 540,000 ルピア / 年

副議長： 40,000 ルピア / 月

→ 480,000 ルピア / 年

書記： 35,000 ルピア / 月

→ 420,000 ルピア / 年

議員： 30,000 ルピア / 月

→ 360,000 ルピア / 年 (8 人: 240,000 / 月 → 2,880,000 ルピア / 年)

会議があるときには、BPD 議員のほかに参加者は、村長と会議のトピックや審議内容に関係する係の長のよって構成される。たとえば、予算の審議では、村長は財政係の長を招く。会議は月に 1 回以上開かれる。時間は 20:00~23:00 である。会議に出席している議員は、全員利益を生み出し活動的である。BPD 議員の親の影響によって、BPD 議員が選ばれているわけではない。

(3) Bandung 部落 Bapak Ambari (71 歳) の聴取

(於：自宅) 2011 年 9 月 12 日 (月) (雲) 13:30~14:30

Bandung 部落長は Rahmad Hartono (46 歳) で、1990 年から就任する。Rahmad 部落長は、選挙の過程を経ることなく部落長になった。直接、そのように決められた。現在は、村長と部落長は選挙を経なければならない。

プンドラハルジョ村村長は事件でやられていて、現在刑務所に収監されている。村長の職務実施 (PLT : Pelaksana Tugas) は、セラン郡役所の官吏に暫定的に代えられえられた。村長の任期は 6 年。村長の選挙は、バントゥールの裁判所 (Pengadilan Negri Batul) の判決結果を待っている。セラン郡内の Sekdes (Sekretaris Desa) は、現在国家公務員になっている。しかし、まだバントゥールの全ての Sekdes は国家公務員によって占められていない。

Monggang 部落と Bandung 部落は BPD 議員の選挙の際には 1 つの選挙区になる。選挙の時、Monggang 部落では 2 人の立候補者があったが、Bandung 部落では 1 人の立候補者であった。BPD 議員の選挙は、投票用紙の立候補者の写真コピーの中から 1 人の写真コピーを選択して穴を空ける (coblosan gambar) 方法で行われた。BPD 議員の選挙をする権利がある者は、17 歳以上の者とすでに結婚した者である (総選挙のように seperti Pemilihan Umum : PEMILU)。選挙区ごとの BPD 議員選挙の結果が村に送られる。

Bandung 部落は、現在では外来の人たちによって非常に多くが占められている。バンドン部落の世帯主の合計数は 300 人に達する。部落住民登録をされている住民は、スラマタン (selamatan : 神への感謝のための儀式) のために食事を作らなければならない。来住者の多くは部落内に屋敷地を購入した。つづいて、かれらは決めた土地に家を建てた。また、借家をしている来住者もある。バンドン部落の地価は 1 m² 当たり 300,000 ルピアに達する。道路沿いの土地は、投資者に貸している土地が多い。普通は、何年間かの契約で利用するシステムである。

今年の収穫の成果は、天候の要因がよくなかったので最高ではない。プンドラハルジョ村の農民においては、稲作の 2 年間に 1 回はポロウィジョ (palawija) 作付けをしている。ポロウィジョの作付けは、稲を襲う害虫 (hama, wereng) のサイク

ルを断ち切るためである。稲はプンドラハルジョ村の基本的な産品である。ポロウィジョの作付けは、2000 年に行われた。稲の種もみ播きは、収穫がよりよくなるようにするためのマニュアルによって行われる。その他に、田植え機が日本からすでに入っている。しかし、農業機械の使用は、耕転機のように土地そのものの耕起 (mengolah tanah) のためにだけ使われる。

裁判所の決定が行われた後、村長の選挙は速やかに行われる。選出された村長は、前村長の任期を継承する。もし裁判所が問題 (korupsi 汚職) に直面した村長を釈放する決定をすれば、そのあと村長選挙は必要ない。BPD 選挙の地方条例 PERDA (Peraturan Daerah) の制定はまだである。選挙区のシステムは 16 部落をの 13 選挙区に分ける。各個別の部落の段階で直接選挙することはいえぬ。マルチガディン村は BPD の議員は 11 人までである。BPD の議員の任期は 10 年である。新しい法令では、BPD の議員の任期は、任期 6 年の村長と一緒に進める。BPD の議員は、普通は社会の名望家からである。

- (4) プンドラハルジョ村村長 Subarta (45 歳) と総務係長 (Kepala Bagian Pelayanan) Qodri (58 歳) の聴取
(於：村役場) 2011 年 9 月 16 日 (金) (雲)
(9 : 30 ~ 10 : 50)

2012 年の BPD 議員の選挙は、年の初めに実施が考えられている。BPD 議員の任命は現議員の任期が終わるまで待つ。プンドラハルジョ村は、まだ BPD 新議員選挙費用を APBDes (村の収支予算書 APBDes : Anggaran Pendapatan dan Belanja Desa) に入れてない。現議員は任期満了時に表彰を受けるだろう。BPD 議員選挙の月は、県政府の発表を待っている。BPD の任期は村長の任期に合わせている。以前任期は 10 年だったが、現在は 6 年になった。BPD についての最も新しい地方条例第 14 (Perda 14 : Tentang BPD

diatur dalam Peraturan Daerah Nomor 14 Tahun 2007) によれば、BPD 議員の選出は話し合いを用いることを述べている。BPD (村議会 Badan Perwakilan Desa) から BPD (村落協議会 Badan Permusyawaratan Desa) への変更は、まだ県政府からの通達 (SK : Surat Keputusan) や条例 (peraturan) がない。選挙は、任期の期限最後にまだでも、あるいはすでにその時期でも、選挙を行うことはできる。BPD 議員選挙方法の原則が、直接選挙の方法か話し合いの方法か、まだはっきりしていない。BPD 議員数の上限は 11 人である。全 16 部落が 13 の選挙区に分けられる。どの部落も県政府が決めた定数 (kuota) を保持しなければならない。村長の任期は 2004 年に始まって、2014 年に終わる。BPD 選挙は民主主義の原則を棄ててはならない。BPD はいつも民衆の代表である。BPD の機能は、変更がないのでいつも一緒である。直接選挙は、BPD 議員選挙においてただしく運用することはできない。BPD 議員候補者は、部落での話し合いを通じて主張する。BPD 直接の選挙予算は、大きな費用を要する。その予算が社会の振興のために使われる方がよりよい。現在では BPD と村長が一緒になって条例を策定する。村長選挙は前村長の判決の決定を待っている。なぜなら、現在丁度上告中であるからである。現在では、村長は県に責任を負っているのであって、BPD に対してではない。新村長選挙を行うために三ヶ月間の準備をする。任期は 6 年で、1 回の再選ができ、2 期 12 年までである。村長立候補者の最少年齢は 25 歳で、最長年齢は 65 歳である。いまの村長 Subarta の任期は前村長の残任期間である 1 年 4 ヶ月である。

プンドラハルジョ村の BKM (Badan Keswadayaan Masyarakat) 事務所の建物の看板には、「平和で繁栄した状態の建設」(Bina Sejahtera) の表記がある。BKM の職員は 13 人である。BKM の経営は、社会を進めるための社会からの代表である。BKM のなかには個人的な

党派があってはならない。村落政府は BKM に支援をを与えることはできない。村落政府は BKM と一体になってプログラムを実施する。社会は BKM に対して改善を経験できることを期する。BKM はネットワークの開発 (ND : Network Development) を目指すことに目を付けている。「平和で繁栄した状態の建設」(Bina Sejahtera) を目指すプンドラハルジョ村の BKM はジョクジャカルタ特別州で第 5 位のランクを得た。社会的自助グループ KSM (Kelompok Swadaya Masyarakat) に対する確認調査の過程が、まだ行われていない。円滑な分割払いの返済が、借り入れ金の額を決める。国からの金は返済する必要があるという話がある。社会振興国家プログラム PNPM (Program Nasional Pemberdayaan Masyarakat) と郡開発プログラム PPK (Program Pembangunan Kecamatan) を実施して貧困を支援する。PPK は、ただ開発だけではなく、経済と教育でもある。PPK からの支援は、PKH (Program Keluarga Harapan 希望家族プログラム) の資料を基礎にしている。PPK は、県ですでに目にとめられている給費生 (basiswa) に支援を与えることができる。プンドラハルジョ村で貧困を支援することは、コミュニティや社会の基礎を目指すことに目を向けることになる。村落行政府職員 (Pamong Desa) は全員で 49 人おり、各係長 (Kepala Bagian) の下には最大 2 人の職員がついている。したがって、1 係は 3 人で構成される。この先 2 年間は、出された基金に関連する村落政府職員の増員はないだろう。BPD 議員の最小数は 5 人で、最大数は 11 人である。

(追加説明)

インドネシアでは貧困家族の定義は、中央統計局 (Badan Pusat Statistik) と社会省 (Kemensos : Kementrian Sosial) によって行われる。貧困家族のデータ収集において、上記の 2 機関が異なった諸規定を持っている。貧困家族についての様々な

規定は、すなわち月収、家の土台、1日に食事できる回数、部屋の所有に関する立場、職業等である。

5. おわりに

以上に見てきたように、1999年地方行政法の施行によってバントゥール県内では2000年暮れから2001年初めにかけて各村で選挙区ごとに住民の直接選挙による村議会議員の選挙が行われ、村議会(Badan Perwakilan Desa : BPD)が設置された。

1999年地方行政法によれば、村議会議員は村民のなかから村民によって選出され、村議会議長は議員のなかから議員によって選出されることになり(同法第105条)、村議会とはもはや村長の意向に従ってめくら判を押すような議会ではなくなったのである。村議会は、村落行政の監督、慣習の保持、村条例の制定、住民要請の伝達の役割(同法第104条)をもつとともに、村長の解任を県知事に提案する権限(同法第103条(2))をもつことになった。また、村議会は、村長と協力して予算やその他の村政に必要な条例等を制定するが(同法第105条)、その内容を郡や県の関係者に事後に報告するだけでよかった。

しかし、実際の村議会の実施過程では、必ずしも期待された運営が実現したわけではなかった。それらの問題とされた点は、①村議会が、村長による村落行政をチェックし、村長とのバランスを取る機能を適切に果たしていなくて、むしろ村長と対立して、円滑な村落行政の妨げになっていること、②村政がBPDによってコントロールされること、③村会議員が選挙区の住民に選ばれた代表であるという自覚が希薄で、むしろ自分が政治的リーダーの意識に立つものが少なくないこと、などである。他方でこのような民主的な自治システムの導入によって、①村落行政における社会的

不正に対する監視と統制機能が高まり(例えば、2010年にプンドラハルジョ村村長の汚職を糾弾し、辞職に追いやった件などはその好例である。現在、裁判の抗争中であるため、上記の報告の中ではその内容について触れていない。)、②広く住民や社会の意向が村政に反映されやすくなったことなどは、その期待された変化の影響としてあげることができる。

ところが、中央政府と国会(Dewan Perwakilan Rakyat : DPR)は、村民間の対立や村議会と村長の対立の激化による村政の麻痺などの回避を理由に「2004年地方行政法」を制定した。その結果、村落行政制度については明らかに民主化が後退することになったが、上述の報告内容で触れたように、バントゥール県内では、2004年地方行政法に定められた任期6年の議員が、2012年末から2013年初めにかけて選出されることになっている。したがって、1999年地方行政法による村議会(Badan Perwakilan Desa : BPD)に変わって設置されることになったこの2004年地方行政法による村落協議会(Badan Permusyawaratan Desa : BPD)の実際の運営と課題については、今後引き続き調査、分析を進めることが必要である。

注

- 1) 5月政変の経過については、拙稿「インドネシアの「5月政変」と背景」(財団法人国際経済交流財団『アジア太平洋地域の相互理解と協力に関する調査研究』pp. 69～77、1999年)を参照されたい。
- 2) スハルト体制下で強化されてきた中央集権的な行政制度の末端を担う村落行政制度について定めた「1979年村落行政法」の制定の経緯と制度の特徴については、拙稿「インドネシアの地方分権化による村落自治組織の再編(1)―ジャワ農村の事例から―」(『椋山女学園大学文化情報学部紀要』第9巻第2号、pp. 1～9、2010年)で詳述したので参照されたい。
- 3) 松井和久編『インドネシアの地方分権』アジア経済研究所 p. 5、2003年参照。
- 4) 政党に関する法律1999年第2号 : Undang-undang Republik Indonesia Nomor 2 Tahun 1999 Tentang Partai Politik.
- 5) 総選挙に関する法律1999年第3号 : Undang-undang Republik Indonesia Nomor 3 Tahun 1999 Tentang Pemilihan Umum.

- 6) 国民協議会・国会・地方議会の構成と地位に関する法律: Undang-undang Republik Indonesia Nomor 4 Tahun 1999 Tentang Susunan dan Kedudukan Majelis Permusyawaratan Rakyat, Dewan Perwakilan Rakyat, dan Dewan Perwakilan Rakyat Daerah.
- 7) インドネシア共和国単一国家の枠組みのなかにおける地方自治の実施、国家資源の公正な管理・分配・利用、および中央と地方の財政均衡に関するインドネシア共和国国民協議会決定 1998 年第 15 号: Ketetapan Majelis Permusyawaratan Rakyat Republik Indonesia Nomor 15/MPR/1998 tentang Penyelenggaraan Otonomi Daerah; Pengaturan, Pembagian, dan Pemanfaatan Sumber Daya Nasional yang Berkeadilan; serta Perimbangan Keuangan Pusat dan Daerah Dalam Kerangka Negara Kesatuan Republik Indonesia.
- 8) 松井和久編『前掲書』アジア経済研究所 p. 5、2003 年参照。
- 9) 拙稿「ジャワ農村の地方自治に関する調査ノート—ジョクジャカルタ特別州ジュティス郡バントゥール県チャンデン村の事例—」(『椋山女学園大学文化情報学部紀要』第 11 巻、pp. 125~143、2012 年)を参照されたい。

参考文献

- 黒柳晴夫、1999「インドネシアの「5月政変」と背景」(財団法人国際經交流財団『アジア太平洋地域の相互理解と協力に関する調査研究』pp. 69-77)。
- 黒柳晴夫、2001「インドネシアにおける初等教育とノンフォーマル・エデュケーション」(『愛知大学国際問題研究所紀要』第 115 号、1-28)。
- 黒柳晴夫、2005「ジャワ農村における村落行政組織の変遷—ジョクジャカルタ地方の事例から—」(北原淳編『アジアの家族・地域・エスニシティ—基層と動態—』東信堂、249-268)。
- 黒柳晴夫、2007「インドネシアの地方分権化による村落自治組織の再編—ジョクジャカルタ地方の事例から—」(科学研究費研究成果報告書『21世紀東アジアにおける農村—都市関係の再編に関する研究』[研究代表者立命館大学国際関係学部教授 竹内隆夫]、237-260)。
- 黒柳晴夫、2009「インドネシアの地方分権化による村落自治組織の再編(1)」(椋山女学園大学『文化情報学部紀要』9巻第2号、1-9)。
- 黒柳晴夫、2011「インドネシアにおける地方分権化—1979年村落行政法から1999年地方行政法への村落自治組織の再編—」(科学研究費研究成果報告書『東アジアにおける「地方的世界」の基層・動態・持続可能な発展に関する研究』[研究代表者 神戸大学大学院人文科学研究科教授 藤井勝]、327-345)。
- 松井和久編、2003『インドネシアの地方分権』アジア経済研究所。
- 水野広祐、2006「合議・全員一致と多数決原理の間で」(杉島敬志・中村潔編『現代インドネシアの地方社会』NTT出版、148-176)。
- 岡本正明、2001「インドネシアにおける地方分権化について: 国家統合のための分権プロジェクトの行方」(国際協力事業団『「地方行政と地方分権」報告書』国際協力事業団国際協力総合研修所、3-46)。
- 岡本正明、2005「再集権化するインドネシア—内務省による権限奪回とユドヨノ新政権の展望」(国際金融情報センター編『インドネシアの展望と日本の援助政策』、43-56)。
- 岡本正明、2005「文献・分離モデルから弱い集権・融合モデルへ—新地方分権制度と内務省の勝利」(松井和久・川村晃一編著『インドネシア総選挙と新政権の始動』、343-362)。
- 島上宗子、2003「地方分権化と村落自治」(松井和久編『インドネシアの地方分権』アジア経済研究所、159-225)。
- 佐藤百合編、2001『インドネシア資料データ集』アジア経済研究所。
- 佐藤百合編、2002『民主化時代のインドネシア』アジア経済研究所。
- Antlöv, Hans, 2003. "Village Government and Rural Development in Indonesia: The New Democratic Framework", *Bulletin of Indonesian Economic Studies*, Vol. 39, No. 2.
- Dwipayana AAGN Ari (ed.), 2003. *Membangun Good Governance di Desa*, IRE Press, Yogyakarta.
- Haris, Syamsuddin (ed.), 2005. *Decentralisasi & Otonomi Daerah*, LIPI Press, Jakarta.
- Hidayat, Syarif, 2007. *Too Much Too Soon: Local State Elite's Perspective on and the Puzzle of Contemporary Indonesian Regional Autonomy Policy*, PT Raja Grafindo Persada, Jakarta.
- Holtzappel, Coen J. G. and Ramstedt, Martin (eds.), 2009. *Decentralization and Regional Autonomy in Indonesia: Implementation and Challenges*, ISEAS, Singapore.
- Kansil, C. S. T. and Kansil, Christine S. T. 2002. *Pemerintahan Daerah di Indonesia: Hukum Administrasi Daerah 1903-2001*, Sinar Grafika, Jakarta.
- Prasetyo, Pius S., 2005. *Democracy in the Indonesian Village Society*, LIT.
- Turner, Mark and Podger, Owen, et al, 2003. *Decentralisation in Indonesia: redesigning the state*, Asian Pacific Press, Australian National University, 2003.
- Tyson, Adam D., 2010. *Decentralization and Adat Revivalism in Indonesia: The politics of becoming indigenous*, Routledge, London.
- Widjaja, H. AW., 1993. *Pemerintahan Desa Administrasi Desa*, PT RajaGrafind Persada, Jakarta.
- Zuhro, Siti R. (et al.), 2011. *Model Demokrasi Lokal: Jawa Timur, Sumatera Barat, Sulawesi Selatan dan Bali*, The Habibie Center, Jakarta.

〔追記〕

本研究は、平成19年度～22年度科学研究費補助金(基盤研究A)『東アジアにおける「地方的世界」の基層・動態・持続可能な発展に関する研究』

〔研究代表者 神戸大学大学院人文科学研究科教授 藤井勝〕 および平成 23 年度椋山女学園大学学園研究助成金 B「農村自治組織に関する比較社会学的研究」の補助を受けて行った研究成果の一部である。

くろやなぎ・はるお / 文化情報学部教授
E-mail : hkuro@sugiyama-u.ac.jp